五つの夜に（1979）

ЛЯТЬ ВЕЧЕРОВ
CINQ SOIREES

メディア 映画
ジャンル
製作国 ソ連
時間 102分
初公開日 1984/09
公開情報 シネセゾン

【解説】
５０年代末、スターリンの死で訪れた“雪どけ”の時代のモスクワを舞台に、戦争で引き裂かれ、１７年の空白を置いて再会した男女の心のふれあいをしっとりと描く、ミハルコフが「ヴァーリヤ！愛の素顔」と共に自ら愛の二部作と語る、大人の恋愛ドラマ。原作は人気劇作家ボロージンの同名劇曲で主役の男女にはリュブシン、グルチェンコと当代きっての演技派が扮し、中年の恋の豊かな情感を的確に表現している。イリーンは休暇で訪れたモスクワの女友達の部屋で、窓からの夜景を眺めるうち、先の大戦中婚約していたタマーラがこの町にいることを思い出し、１７年ぶりに彼女を訪ねる。タマーラは冷めた表情で、泊まっていっても構わない、と告げるだけだった。翌晩、イリーンは同居している甥と彼女の誕生日を祝おうとするが、タマーラはその祝宴を拒絶。三日目の夜には、イリーンは思い切って彼女に、一緒に北へ行って出直そうと誘うが、タマーラは首を横に振る。二人の間に横たわる歳月は大きかった。しかし、タマーラの胸に再び愛への灯が宿ったのも確かだった。二人の絆は蘇りつつあった……。ミハルコフは「オブローモフの生涯より」の撮影中断を利用して、僅か一カ月足らずで本作を完成。小市民的日常の機微を描いて、豊かなナイーブさを発揮、味わい深い作品に仕上げた。

【クレジット】

監督	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov
原作	アレクサンドル・ボロージン	
脚本	アレクサンドル・アダバシャン	Aleksandr Adabashyan
	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov
撮影	パーヴェル・レーベシェフ	Pavel Lebeshev
音楽	Ｍ・ブランク	
出演	リュドミラ・グルチェンコ	Lyudmila Gurchenko
	スタニスラフ・リュブシン	Stanislav Lyubshin
	ワレンティーナ・テリーチキナ	
	ラリサ・クズネツォーワ	
	イーゴリ・ネフェードフ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.